

News Release

2020年3月4日
フエニックス・コンタクト株式会社

高密度 I/O システム「Axioline Smart Elements」販売開始 ～高密度な Push-in 千鳥配列で設置幅を約 25%削減*、制御盤内の省スペースに貢献～

フエニックス・コンタクト株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表：青木良行）は、2020年3月10日より、**高密度 I/O システム「Axioline Smart Elements」**（以下本製品）の日本での販売を開始します。

本製品はプラグ式のスマートエレメントに I/O 機能が入っており、14 種類のエレメントから自由に組み合わせ、バックプレーンのスロットに挿し込むだけで、「Axioline F シリーズ」の拡張になります。信号線接続部は**高密度な Push-in 接続千鳥配列**で、上下 2 種類 **15mm 幅**のスマートエレメント設置により**最大 32 点**までの I/O 信号を接続可能です。I/O システム全体の設置幅は、市場の汎用 I/O システムと比べて**約 25%削減***となり、制御盤内の省スペースに貢献します。各種産業プロトコルにも対応しています（EtherNet/IP、Modbus TCP、EtherCAT、PROFINET、PROFIBUS、SERCOS III）。（*フエニックス・コンタクト ドイツ本社調べ）

フエニックス・コンタクトは、今後もお客様のニーズを先取りする革新的な製品ラインアップにより、省工数化、省スペース、デジタル化時代に対応するお客様の IoT 化促進に貢献します。



写真① Axioline Smart Elements
(スマートエレメントとバックパネル)



写真② Axioline Smart Elements
(スマートエレメント)



写真③ AxiolineFシリーズと
本製品を組み合わせた状態

■製品の特長：

- **高密度な Push-in 接続千鳥配列**により、上下 2 種類のスマートエレメント設置で **15mm 幅に最大 32 点**の I/O 信号接続可能。
- **スマートエレメント 14 種類**（デジタル入出力、アナログ入出力、IO-Link、カウンタ、エンコーダ、シリアル通信、安全入・出力）から自由に組み合わせ。
- **バックプレーンモジュール 2 種類**（4、6 スロットタイプ）のスロットに多種のエレメントを挿し込み簡単に設置。
- 既存の Axioline F シリーズのバスカプラと I/O モジュールとも混在可能。PLCnext との直結も可能。

■対応製品・型式：

- スマートエレメント 14 種類：
 - AXL SE DI16/1 (1088127)
 - AXL SE DO16/1 (1088129)
 - AXL SE AI4 I 4-20 (1088062)
 - AXL SE AO4 I 4-20 (1088123) 他
- バックプレーン 2 種類：
 - AXL F BP SE4 (1088135)
 - AXL F BP SE6 (1088136)



写真④ スマートエレメント
14種類



写真④ バックプレーン2種
(4、6スロット)

■製品詳細 URL：http://www.phoenixcontact.co.jp/axioline_se

<フエニックス・コンタクト株式会社について>

世界55か国以上の海外支社を展開し、従業員17、600人以上、創業95年以上の歴史を持つドイツの産業用接続機器、制御製品および通信機器のマーケットリーダー、フエニックス・コンタクト社の日本法人。日本では本社（神奈川県横浜市）をはじめ10拠点、および配送センター（神奈川県川崎市）を通じ、DINレール搭載用端子台・プリント基板用端子台・産業用コネクタなどの接続機器や、信号変換器・電源・リレーを中心とする電子機器、サージ保護機器、および産業用ネットワーク機器など6万点におよぶ製品の販売およびカスタマーサービスを行う。詳細はHPをご覧ください。<http://www.phoenixcontact.co.jp>

本件に関する問い合わせ： フエニックス・コンタクト株式会社 経営企画部
Tel: 045-548-9796 Email: info@phoenixcontact.co.jp HP: <http://www.phoenixcontact.co.jp>